

外来診察担当医一覧

※青字は予約診察です。

平成23年8月現在	月	火	水	木	金	土	
整形外科	午前 (9:00~12:30)	林 茂 山口浩司	林 茂 山口浩司	堀 志郎 (リハビリのみ)	入江弘基	岡田龍哉	輪番制
	午後 (9:00~12:30)	山口浩司	藤本徹	増田吉弘 (リハビリのみ)	入江弘基	山口浩司	
膝専門外来 (予約制)	午後 (13:30~17:30)				林 茂(予約)		
内科	午前 (9:00~12:30)	西村裕子(予約) 山口勉	篠原守継 山口勉	篠原守継	篠原守継 山口勉	西村裕子(予約) 大谷将之	輪番制
	午後 (13:30~17:30)	篠原守継	西村裕子(予約) 箕田修治	西村裕子(予約) 増田吉弘	大谷将之 増田吉弘	山口勉 増田吉弘	
消化器外科	午前 (9:00~12:30)						
	午後 (13:30~17:30)			増田吉弘	増田吉弘	増田吉弘	
泌尿器科	午前 (9:00~12:30)			大谷将之		大谷将之	
	午後 (13:30~17:30)	大谷将之			大谷将之		
消化器内科	午前 (9:00~12:30)	山口勉	山口勉		山口勉		
	午後 (13:30~17:30)					山口勉	
神経内科	午前 (9:00~12:30)			箕田修治(予約)	森由紀子	箕田修治(予約)	
	午後 (13:30~17:30)		箕田修治				
呼吸器内科	午前 (9:00~12:30)					佐藤圭創	佐藤圭創
	午後 (13:30~17:30)					佐藤圭創	
循環器内科	午前 (9:00~12:30)						高岡奈央子
糖尿病・ 代謝内科	午前 (9:00~12:30)		篠原守継	篠原守継	篠原守継		
	午後 (13:30~17:30)	篠原守継					
麻酔科	午後 (13:30~17:30)	辻重喜			辻重喜		
皮膚科	午前 (9:00~12:30)			山下直子(予約)			
	午後 (13:30~17:30)		山下直子(予約)		山下直子(予約)		



受付時間 月～金 8:30～12:00  
13:00～17:00  
土曜日 8:30～12:00

診療時間 月～金 9:00～12:30  
13:30～17:30  
土曜日 9:00～12:30

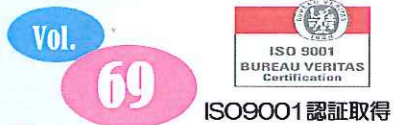
休診 日曜・祝日



〒861-4157 熊本市富合町古閑1012番地 (熊本総合車両基地前、富合駅より徒歩10分)  
TEL: 096-358-1118(代) FAX: 096-358-1099

http://www.nishikuma.com

熊本ホスピタウン kumamoto hospitown



# にしくまだより

## 平成24年度完成に向けて新病棟建設中

平成23年5月23日より総事業費20億円をかけ、病棟の全面建て替えを行う新病棟建設が始まりました。鉄筋コンクリート造り6階建て、建築面積1700㎡、延べ床面積は7500㎡となる予定です。1Fは外来診察室・検査室・売店・受付事務、2Fはリハビリ室・手術室(2室)・薬局、3Fは回復期リハビリ病棟(36床)、4Fは一般病棟(外科40床)、5Fは一般病棟(内科40床)、6Fは療養型病棟(30床)です。1Fフロアは、泌尿器専用検査室や健診センター、プライバシーに配慮した個室タイプの外来診察室8部屋など、充実した設計にしています。また、患者さまの個人情報に配慮した個室の相談室も1Fフロアに設置する予定にしています。



6階建て新病棟完成イメージ図

- 工事の様子  
患者さまのための充実した施設
- 6F 療養病棟 (30床)
  - 5F 一般病棟 (40床) 内科系
  - 4F 一般病棟 (40床) 外科系
  - 3F 回復期病棟 (36床)
  - 2F 手術室 (2室)・リハビリ室・厨房・薬局
  - 1F 受付・外来診察室・各検査室・売店

暦では立秋になりましたが、まだまだ暑い日が続いております。皆様におかれましては、お元気で過ごしのことと思います。さて、5月23日より新病棟の建設が始まり、入院患者さん、外来患者さん、並びに近隣の方々には工事の騒音等で大変ご迷惑をおかけしており、心よりお詫び申し上げます。工事をするにあたり、外来患者さん用の駐車場を閉鎖したため患者さんからご意見をいただきました。早速、そのご要望をもとに身障者用駐車場を4ヶ所設け、職員駐車場の一部を外来専用駐車場へ変更し、患者さんの利便性向上に努めております。

ところで、去る7月2日(土)アスパル富合にて「ひざの健康教室」を、熊本地域リハビリテーション広域支援センター(にしくまもと病院)と下益城郡医師会の共催で開催いたしました。当日は山口浩司医師による講話と理学療法士による健康体操を行い、暑中100名以上の方にご参加をいただき厚くお礼を申し上げます。今後も地域貢献のためにこのような健康教室を開催して参りますとともに、地域の皆様に愛される病院を目指して職員一同邁進して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



病院長 林 茂

### 夏～秋の皮膚病注意報 皮膚科専門医 山下直子

節電が叫ばれた今夏は、汗により増悪する皮膚病が増えました。虫さされや汗疹（あせも）の痒みで夜も眠れず、おまけに掻きむしり、シクシクしてなかなか治らない～湿疹化、膿痂疹化（とびひ）して長引く～という経験をした方も多かったのではないのでしょうか？ 秋になっても厳しい暑さが続き油断大敵です。今回の注意報は、秋にも注意したい虫による皮膚病とかきむしることで増悪する伝染性膿痂疹化です。

#### 秋にも気をつけたい虫による皮膚病

(1) マダニの刺咬による慢性遊走性紅斑 (図1、図2)

秋はゴルフ、ハイキング、山登りに最適の季節。草むらに分け入る機会も増えます。葉の裏で待ち受けるマダニ、本来は鹿やイノシシの体表に寄生していたものが、野生動物が人里に下りてきて置きみやげにするのか、ヒトの皮膚にも咬着する被害が急増中。一度刺咬と十分吸血するまで離れず（約2週間）、意外にも刺されたヒトは気付かないことが特徴です。無理にダニをむしりとりしようとすると、口器が皮膚に残り、硬いしこり、難治な潰瘍となることがあります。またマダニがリケッチアを媒介し発熱、発疹が出現する日本紅斑熱やボレリアを媒介し、慢性遊走性紅斑、神経症状、関節症状、循環器症状を合併するライム病を発症することがあります。よって、虫体を完全な形で除去することと抗生物質の予防的投与が必要です。マダニに刺されたら必ず皮膚科を受診してください。



図1



図2

マダニはしばしばライム病を媒介する。

(2) 毛虫皮膚炎

毒針毛型：サザンカ、椿に多いチャドクガの幼虫による皮膚炎 (図3、図4)



図3



図4

毒棘型：サクラや柿の木に多いイラガ類の幼虫によるチャドク蛾の幼虫（毛虫）の毛が皮膚に刺されると毛虫皮膚炎を起こします。もので疼痛と一時的に赤く腫れる症状が見られます。いずれも5～6月、8～9月に幼虫が発生するためにこの時期に皮膚炎を起こします。皮膚科に受診される方は毒針毛型に多く、発症時は毒針毛をよく石鹸で洗い流すことが重要です。痒みの強い発疹が毛虫に触れていない部位まで拡大することがあり、治療が必要となります。ステロイド剤の内外用、抗アレルギー剤で治療します。

(3) 伝染性膿痂疹 (図5)

外傷部や虫刺皮膚炎、アセモ、アトピー性皮膚炎等で病変部を痒みにまかせてかきむしったりすると、二次的に細菌感染（黄色ぶどう球菌、溶連菌）をおこし、皮疹が拡大、難治性になることがあります。この病気は小児に多くみられますが、最近では成人の患者さんも増えてきました。MRSA感染による難治性のとびひも増加してきています。治療は抗生物質の効果がなく難治なときはMRSA感染を疑う必要があります。予防、治療共に重要なことはこまめに石鹸でよく洗い、シャワー浴をして清潔に皮膚を保つことと、病変部を触ったり、かきむしったりしないことです。



図5

伝染性膿痂疹

火事の飛び火のようであつという間に周囲に移ります。

#### ホスピタウン祭りのご案内

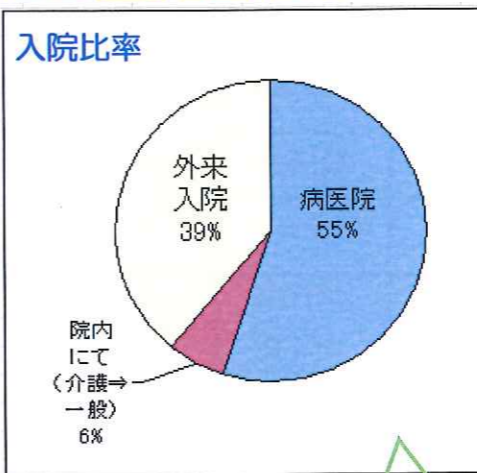
9月17日(土) 開催場所: にしくまもと病院中庭

毎年恒例の「ホスピタウン祭り」を9月17日に開催いたします。今年は例年よりも時間を繰り上げて17:00～開催することになりました。焼きとりや焼きそば、綿菓子、金魚すくい、ヨーヨー、など多くの出店を準備しております。舞台では宇土太鼓保存会による太鼓演奏、その他パナナの叩き売り、豪華商品が当たる大抽選会など、盛りだくさんの内容です。地域の皆様、及びご家族お誘い合わせの上、多くの方のご来場を心よりお待ちしております。



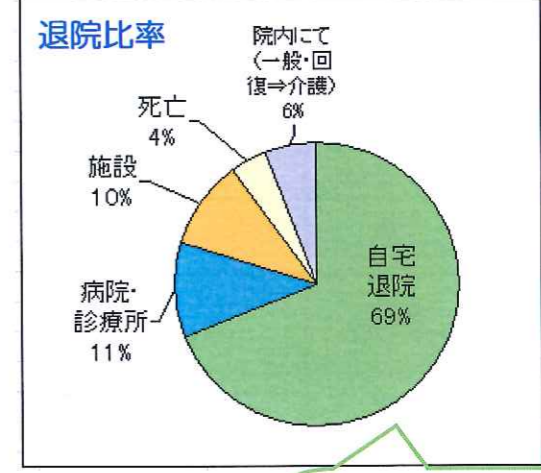
#### 実績報告

平成22年度の実績をもとに、当院の入院比率と退院比率を報告します。



平均外来数	164人/日
平均入院患者数	139人/日
平均要介護度	4.1
在院日数(一般病棟)	17.5/日
(回復期病棟)	64.6/日

紹介入院が若干多いですが、外来入院も随時要望に応える体制で取り組んでいます。



在宅復帰率	
回復期病棟	80.4%
亜急性期病床	89.8%

在宅退院としては、自宅と有料老人ホーム等、施設を含めて79%、入院された8割の方が在宅での生活をスタートされています。在宅生活を社会資源活用でしっかりサポートしています。

#### ～勉強会のご案内～

地域連携室では施設様向けに勉強会を開催しています。勉強会では、医師による講話、リハ科職員による実技指導、感染予防対策として吐物処理方法の実技など、さまざまな内容を定期的で開催しています。多くの方からのご参加をお待ちするとともに、ご希望があれば貴施設に向いての勉強会も検討しております。今後のテーマとスケジュールをご案内いたします。



前回の勉強会風景 脳血管疾患について講話をする真田副院長

日時	テーマ	場所
9月29日(木) 実技指導も実施します	「感染対策としての疥癬について」 講演: 皮膚科専門医 山下直子	にしくまもと病院(通所リハれんげ草)
12月	肺炎の治療と予防について	にしくまもと病院(通所リハれんげ草)
H24年3月	意見交換会(交流会)	にしくまもと病院(通所リハれんげ草)

ご連絡は、096-358-1118(代) 地域連携室まで。

#### 10月8日(土) 「地域健康教室 in 宇城」開催のお知らせ

当院は熊本県より「熊本地域リハビリテーション広域支援センター」の委託を受け様々な活動をしております。この度、各関係機関と共同で健康教室を開催いたします。講演に熊本大学整形外科の水田教授をお招きして講話をしていただき、その他運動指導も予定しております。多くの方の参加をお待ちしております。

主催: 下益城郡医師会・宇土都市医師会・宇城保健所・熊本地域リハビリテーション広域支援センター

問い合わせ窓口: 宇城保健所 保健予防課 山本 0964-32-1207

- 日時: 平成24年10月8日(土)
- 時間: 13:15～16:00
- 場所: ウィング松橋
- 定員: 200名(定員になり次第締め切り)
- 基調講演: 「健康長寿とロコモティブシンドローム」 演者: 熊本大学生命科学部骨格病態学分野教授 水田博志先生
- 運動指導: 「ロコモティブシンドローム予防に有効な運動」